



環境・消費の学びにおいて エコマークが活用できます

学校(おもに小学4年(社会)、5年(家庭科)、高校(家庭))や消費生活センター、自治体、企業など、あらゆる現場で環境教育の推進やエシカル消費、SDGs の理解などにエコマークが活用されています。

環境学習に！

エコマークは、環境を守るためにできることを考えるスタートに使えます。

【活用例】

- ・どんなりサイクル商品があるか調べよう(身近にあるマークの意味を調べる)
- ・エコマークのついた商品を探そう



エシカル消費教育に！

エコマークはエシカルな商品を見分ける認証ラベルの一例となります。

【活用例】

- ・エシカル消費につながる様々なラベルを探そう。
- (環境について考えているマークの代表例としてエコマークを紹介)

消費生活の学びに！

環境に配慮した商品の目印であるエコマークは、消費生活と深く関連しています。

【活用例】

- ・グリーンコンシューマーとは？
- ・買い物のときに考えることは何ですか？
(エコマークなどの環境ラベルがエコな買い物のお手伝いをします)

SDGs の理解に！

持続可能な開発目標(SDGs)は世界のみんなで取り組む目標です。SDGsの17の目標のうち、目標12「つくる責任 つかう責任」はエコマークと深く関連しています。

【活用例】

- ・持続可能な未来のために、何ができますか？
(目標12においてエコマークを紹介)



～～お気軽にお問い合わせください～～

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局

101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5F

TEL:03-5829-6286 メール:kouhou@ecomark.jp

URL <https://www.ecomark.jp/>



エコマークウェブサイト